

平成23年度事業計画書

I 基本方針

平成24年度に開催される「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の開催気運を盛り上げるため、岐阜県教育委員会及びその他関係機関と連携を図りながら、各種事業を展開する。

イベント・スポーツ振興事業は、「高橋尚子杯ぎふ清流マラソン」などの県民総参加で取り組む事業を支援するほか、事業団が有する機能やノウハウを発揮し、「ぎふ清流国体」での天皇杯・皇后杯獲得を目指し、競技力の向上を推進する。

施設の管理運営については、今年度で開催される国体リハーサル大会がスムーズに運営できるよう、これまで施設管理者として培ってきた経験を最大限活用し問題点の把握や改善を行うとともに、利用者サービスに努める。

II 事業概要

1 イベント振興事業（4,235千円）

平成24年度に開催される「ぎふ清流国体」・「ぎふ清流大会」の開催機運を高めるため、県民に親しまれるスポーツイベントを開催するとともに、「高橋尚子杯ぎふ清流マラソン」の開催支援や「NPO法人岐阜県レクリエーション協会」との連携を図ることにより、広く県民にスポーツの普及振興を図る。

①スポーツイベント開催事業

岐阜県のスポーツ振興拠点として、平成24年の「ぎふ清流国体」・「ぎふ清流大会」に向けて、FC岐阜の選手が指導するサッカー教室や国体候補選手によるバレーボール教室などを開催し、競技人口の拡大や競技力の向上を図る。

予定種目 サッカー・バレーボール・ソフトボール等

②武道フェスティバル開催事業

平成24年の「ぎふ清流国体」・「ぎふ清流大会」を間近に控え、県内武道関係団体が一堂に会し、武道競技力の向上と競技人口の拡大及び県民の武道に対する意識の高揚を図り、国体開催の機運を高めていくことを目的として事業を開催する。

③元気で歩こまいかキャンペーン

運動の日常化・習慣化を目指し、誰もが気軽に参加できるロングランウォーキングキャンペーンを実施。オープニングセレモニー（10月開催）と毎月15日を「元気歩きの日」とし、年間を通じたスタンプラリーを岐阜メモリアルセンターで展開する。

さらに、連携ウォーキングとして、5圏域のウォーキング関連イベントへ協賛することで、県全体で運動の日常化・習慣化への意識を高める。

④情報誌「生涯スポーツ情報」の発行（8月、3月）

岐阜メモリアルセンターで実施している生涯スポーツに関する案内や各種イベント情報を提供する。

⑤イベント誘致事業

国際的、全国的、全県的なスポーツイベントを積極的に誘致する。

また、現在開催されている全国大会等の継続開催に向けて働きかけを行う。

主なイベント

- ・カンガルーカップ国際女子オープンテニス
- ・プロサッカーJ2リーグ公式戦
- ・JABAベアブルース杯争奪全国社会人野球大会
- ・高橋尚子杯ぎふ清流マラソン
- ・東京ディズニーシー10thアニバーサリー“Be Magical”
- ・キッズサマーキャンプ
- ・日本女子ソフトボールリーグ岐阜大会
- ・全国高校選抜女子バスケットボール強化大会
- ・プロ野球オープン戦

⑥地域交流事業

ア 地域ふれあいフェスティバル

岐阜メモリアルセンターに隣接する長良西・鷺山・早田3自治会連合会の地域住民との交流を図るため、岐阜メモリアルセンターの施設を開放して地域の方々が世代間を超えて汗を流し、スポーツ・レクリエーションを通じて交流を深めることを目的に開催する。

予定事業：地域ふれあいフェスティバル、スポーツ・レクリエーション等事業

イ 施設無料開放事業

長良川河畔で毎年開催される2大花火大会時に、岐阜メモリアルセンターの施設を一部開放し県民の憩いの場として提供することで、当施設を多くの方々にPRすることを目的に開催する。

開放施設：長良川競技場、長良川球場、芝生広場、サンサンデッキ

2 スポーツ振興事業

事業団が有する機能・ノウハウを発揮して、生涯スポーツを推進（「スポーツ『新1・1運動』21」）するほか、「ぎふ清流国体」の開催を機にスポーツの振興を図る。

(1) 生涯スポーツ普及振興事業

事業団が管理運営する施設の活用・提供を図りながら、県民のスポーツの日常化（岐阜県が目標とするスポーツ実施率（週に1回以上運動する人の率）50%の達成）の一助となるよう、以下の事業を実施する。

①スポーツ教室の開催（3,901千円）

県民が自発的にスポーツができる機会を提供するため、年間を通じてスポーツ教室8種34コースを開催する。特に、テニスコートの改修により屋根が完備されたため、23年度から新たにテニス教室に冬期コースを設置する。

種目	開催期	コース	定員	種目	開催期	コース	定員
アクアビクス	前・後・冬	3	各40人	ウォーキング	前・後・冬	3	各25人
スイミング	前・後	2	各30人	ソフトエアロビクス	前・後・冬	3	各30人
テニス（午前） （夜間）	前・後・冬	6	各15人	ヨーガ	前・後・冬	3	各30人
	前・後・冬	6	各25人	太極拳（入・初）	前・後・冬	6	各30人
ヒームライフル	前	2	各10人	合計		34	875人

②地域武道振興事業（1, 855千円）

（財）日本武道館の国庫補助対象事業である「地域社会武道指導者研修会」及び「地方青少年武道錬成大会」を共催事業者として実施し、武道の振興・発展に寄与する。

ア 「岐阜県地域社会武道指導者研修会」

武道名：なぎなた
 開催日：平成23年7月9日（土）～10日（日）
 対象者：一般指導者
 参加者：60名

イ 「岐阜県地方青少年武道錬成大会」

武道名：弓道
 開催日：平成23年8月9日（火）～10日（水）
 対象者：高校生
 参加者：60名

ウ 「岐阜県地方青少年武道錬成大会」

武道名：銃剣道
 開催日：平成23年9月10日（土）～11日（日）
 対象者：小中高生
 参加者：30名

※銃剣道については東海地区持ち回りで実施し、23年度は岐阜が当番県となる。

（2）競技力向上推進事業

スポーツ科学に基づいた指導者研修や国体強化指定選手等の体力測定・トレーニング指導を実施し、「ぎふ清流国体」での天皇杯・皇后杯の獲得を目指し、以下の事業を展開する。

①指導者養成事業（1, 625千円）

日本一のチームや選手を育てるためには、指導者の指導理論や指導方法等の向上が必要不可欠である。そのため、各競技団体から推薦された指導者を対象にレベルの高い研修を実施して、全国で活躍できるチームや選手をつくることのできる指導者の養成を図る。

具体的には、スポーツ科学トレーニングセンターでの実践的研修や、各種研修会・講習会を開催する。

研修名等	対象者	研修内容等
岐阜県認定スポーツ指導者養成講習会	各競技団体から推薦された者から選考	上級指導者・インテレクチュアルトレーナー養成講習（20名程度） ・メンタル及びトレーニング方法の理論 ・体力測定・評価 ・運動生理学 ・戦術・戦略 フィジカルトレーナー・メンタルトレーナー養成講習（各10名程度） ・フィジカル、メンタルの各部門に関する指導理論と実技・実習
「スポーツ王国づくり」研修会	全国大会で優秀な成績を収めた指導者等	・受講ニーズの高いテーマを設定し講演会・シンポジウムを開催

②優秀指導者配置事業（6, 670千円）

国際的・全国的レベルの競技力を持つ選手やチームを育てた経験を持つ人材を指導者として配置し、それぞれの指導者を関係競技団体が実施する練習会や合宿等へ派遣することで、県内の競技力の向上を推進する。

優秀指導者委嘱予定者

指導者名	種目	競技実績等	指導内容
後藤 寿彦	野球	元野球日本代表監督	対象：中・高校生 実技指導
山崎 一彦	陸上競技	オリンピック出場（バルセロナ、アトランタ、シドニー）400mH	対象：中・高校生 技術・トレーニング指導
山田 青子	バドミントン	オリンピック出場（アテネ）女子ダブルストリッキーパンダース所属	対象：中学生～成人 実技指導
増淵まり子	ソフトボール	オリンピック出場（シドニー）銀メダル獲得	対象：小学生～成人 実技指導

③日本一づくり特別強化事業（1, 476千円）

本県代表のチームや県出身選手の活躍は県民に夢や活力を与えてくれる。多くの県民から期待され「スポーツ王国・ぎふ」を全国にPRできる競技種目を特化し、専門的な指導や科学的トレーニングの導入により重点的な強化事業を行う。

平成23年度の事業内容

種目	対象	内容
高校硬式野球	中学生・高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀指導者による実践的な指導 ・動作分析による科学的指導 ・中学、高校間の連携、一貫指導体制の確立
都道府県対抗駅伝	中学生・高校生・一般	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生から一般まで優秀選手の確保（実業団等への進路づくり） ・高地トレーニングエリア等での合同合宿の実施 ・中学生への重点サポート

④高地トレーニング実践強化事業（2, 977千円）

高地トレーニングの効果は、近年ますます国内外において高く評価されている。

「飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア」は、平成20年に国からナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の指定を受け、飛騨高山御嶽トレーニングセンターの完成や、全天候型トラック（2箇所）を完備するなど環境面がさらに充実し、全国的にも注目されるトレーニング地となっている。

当エリアの立地条件や環境条件を活かして、県内の陸上中・長距離、スケート、クロスカントリースキー、レスリング等の強化合宿を行い競技力向上を図るとともに、高地トレーニングにおけるコンディショニングチェックやデータ収集・分析による高地トレーニングの科学的サポート体制を確立する。

⑤スーパージュニアスクール事業（1, 096千円）

スポーツ国際交流員等の指導により、県内各地から卓越した素質のあるスーパージュニア（小学生から高校生まで）を選抜し、少数精鋭による継続的な強化練習を実施する。

平成23年度の事業内容

対象種目	対象者	対象人数	指導方法
新体操	小学生～高校生	30名程度	週2～3回の定期指導

⑥トップアスリート科学サポート事業（7, 562千円）

ア トータルサポート

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」における天皇杯・皇后杯獲得や、オリンピックなどの国際大会で活躍を目指す県内の選手・チームの競技力向上に貢献することを目的に、「フィットネスチェック、スキルチェック、フィジカルトレーニング、メンタルサポート、スポーツ・ボディケア、スポーツ栄養」の専門分野のサポートを計画的・効率的に実施する。

特に、ぎふ清流国体を1年後に控え、重点的にサポートする団体に対しては、強化合宿や試合での帯同サポートを計画している。

イ ジュニアサポート研修会

ジュニア選手の育成のため、ぎふ清流国体強化指定選手、指導者及び保護者を主な対象に、発育・発達期に必要な専門分野の情報やトレーニング方法を提供する研修会を開催する。

⑦スポーツ専門指導員等招聘事業（145, 272千円）

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」での総合優勝を目指し、国体開催種目のスキーをはじめ約20種目の競技について、競技力向上を図るに足る専門知識、技術及び指導力を有する指導者を招聘し、県内選手を集中的に指導する。

全国トップレベルの指導を受けることにより、本県の選手及び指導者の強化に係わる意識の醸成と技能の向上が図られ、「ぎふ清流国体」での総合優勝が期待できる。また、少年～成年に対するレベルの高い一貫指導を受けることで、将来を担う選手・指導者の育成に貢献する。

⑧スポーツ国際交流員配置事業（242千円）

高度な競技レベルを有する指導者をスポーツ国際交流員（※）として招聘し、県内小中高生等の競技力の向上を図るとともにスポーツを通じた国際交流を促進する。

※JETプログラム：語学指導等を行う外国青年招致事業

現在招聘しているスポーツ国際交流員

出身国	交流員名	専門種目	招聘期間
ブルガリア	ゲルマワ・ボリスラワ	新体操	H20.8～H23.8

3 県有施設の管理運営事業

長年培ってきた施設管理の経験やノウハウを活用して、平成23年度に実施する国体リハーサル大会のスムーズな運営を支援するほか、ぎふ清流国体開催に向けた問題点を把握・改善し、利用者サービスに努める。

(1) 県から委託を受け管理する施設

①岐阜メモリアルセンター（管理費323,677千円）

②スポーツ科学トレーニングセンター（管理費27,300千円）

(2) 指定管理者として指定を受け管理する施設

○長良川球技場（管理費35,585千円）

(3) 施設の維持管理

県の厳しい財政状況を反映して経常的な施設管理経費が削減されており、事業団としてはより効率的な管理運営が必要である。このため、外部委託費や物品調達経費においては競争原理やスケールメリットを活かした発注方法を積極的に導入するなど経費の節減を図る。

また、平成24年に開催される「ぎふ清流国体」のメイン会場として多くの施設が利用されることから、県と連携を図りながら計画的な施設修繕を行ってきた。しかし、岐阜メモリアルセンターは供用開始から21年が経過している等各施設において老朽化に伴う補修が必要になってきているため、引き続き計画的に施設修繕を行っていく。

(4) 貸出施設の運営

①利用者本位のサービスの提供

利用者が「気持ちよく使える施設」と感じていただけるよう、接客サービスの向上（目配り・気配り）と、利用者ニーズの的確な把握と迅速な対応による利用者本位のサービスの提供に努める。

○接客サービスの向上

- ・接客研修の実施

○利用者ニーズの把握方法

- ・利用後のアンケート調査
- ・「ふれ愛ボックス」（ご意見箱）の設置
- ・ホームページの活用

○ポスター「イベントカレンダー」の発行（6月、9月、12月、3月）

- ・岐阜メモリアルセンター等で開催されるイベント情報の効率的な提供を行う。

②施設の有効利用

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の開催について施設利用者に周知するため、本館サービスルーム内にミナモグッズの販売コーナーを設置し、PR活動を実施する。

平成 23 年度 目標 数 値

○施設稼働率

(単位：%)

施 設 名	指 標 の 動 向 (過去 3 年間の稼働率)				23年度 目標数値
	20年度	21年度	22年度(見込)	平 均	
で 愛 ド ー ム	41.4	43.8	48.0	44.4	48.0
ふれ愛ドーム	59.4	57.5	68.1	61.7	68.0
柔 道 場	34.4	32.5	31.7	32.9	33.0
剣 道 場	20.9	19.6	20.7	20.4	20.0
相 撲 場	0.8	1.4	0.7	1.0	1.0
体 育 室	44.3	42.5	50.2	45.7	50.0
弓 道 場	35.7	30.4	34.9	33.7	35.0
陸 上 競 技 場	43.6	42.8	—	43.2	特定施設* 43.0
補 助 競 技 場	63.7	71.9	—	67.8	68.0
野 球 場	36.0	34.1	31.4	33.8	特定施設* 34.0
庭球場(一般コート)	54.4	46.4	50.1	50.3	50.0
水 泳 場	100.0	100.0	100.0	100.0	—
(利用者数)	44,646人	32,776人	39,675人	39,032人	40,000人
トレーニング室	100.0	100.0	100.0	100.0	—
(利用者数)	17,872人	20,180人	19,000人	19,017人	19,000人
会 議 室	33.6	30.3	31.1	31.7	32.0
長良川球技場	61.2	59.5	62.4	61.0	特定施設* 61.0

* 特定施設

岐阜メモリアルセンター使用許可基準により、全国規模のアマチュアスポーツ大会プロスポーツ競技等の開催に限り使用を許可している施設

*メモリアル施設稼働率の算出方法

利用コマ数÷利用可能コマ数(1日を午前・午後・夜間の3コマとして算出)×100

*平成21年度から平成22年度の間、国体大規模改修のため閉鎖した施設

陸上競技場、補助競技場、庭球場、水泳場

○スポーツ科学トレーニングセンター利用件数

(単位：件、人)

項 目	指 標 の 動 向 (過去 3 年間の実績)				23年度 目標数値
	20年度	21年度	22年度(見込)	平 均	
体 力 測 定	5,960	6,236	5,586	5,927	6,100
動作分析測定	1,616	1,848	1,743	1,736	1,800
メンタルトレーニング*	920	412	344	559	550
体力トレーニング*	2,223	2,094	1,987	2,101	2,100
スポーツホテイクア	648	474	707	610	750
スポーツ栄養	83	99	173	118	200

4 駐車場事業

○世界イベント村南臨時駐車場の運営

県から借り受けた土地（旧岐阜市立女子短期大学跡地）において有料の臨時駐車場を開設して、「世界イベント村」各施設で行われている大規模イベントに際して、自家用車、団体バス利用者の便宜を図る。

なお、当事業は収益事業として特別会計で経理する。

収容台数及び利用料金

区 分	収容台数	利 用 料 金
普通車	348台	300円/回
バ ス	16台	1,000円/回

5 その他事業

(1) 「ぎふスポーツフェア2011」の運営

主 催：ぎふスポーツフェア2011実行委員会

期 間：平成23年4月16日～5月15日（16日間）

内 容：各種スポーツの競技会や体験イベント（計56イベント予定）

- ・第65回JABAベアブルース杯争奪全国社会人野球大会
- ・プロサッカーJ2リーグ公式戦（FC岐阜ホームゲーム）
- ・カンガルーカップ国際女子オープンテニス2011
- ・高橋尚子杯ぎふ清流マラソン
- ・長良川スイミングプラザ無料開放（一般及び障がい者対象） 他

(2) 「高橋尚子杯ぎふ清流マラソン」の支援

主 催：高橋尚子杯ぎふ清流マラソン実行委員会、岐阜陸上競技協会

実行委員会構成：岐阜陸上競技協会、岐阜県、岐阜市、中日新聞社、当事業団

開催日：平成23年5月15日（日）

内 容：・ハーフマラソン 9：00スタート

（募集人数）9,000人 （参加資格）大会当日15歳以上 （参加料）6,000円

・3km 9：15スタート

（募集人数）1,000人 （参加資格）中学生以上 （参加料）1,500円

当事業団の役割：会場運営担当…会場設営、運営スタッフ等の管理調整

関連事業担当…ステージ、ブース出展等盛り上げ事業の企画・実施